



初等部だより 6月号

鎌倉女子大学初等部
令和7年5月30日
第3号

感謝と奉仕の心に満ちた運動会

部長 大塚 俊明



雨予報を受けて一日順延させていただいた今年度の運動会。保護者の皆様をはじめ、幼稚部の先生方、一般公開で参加いただいた方々にもご参観いただき、小さなヒーローたちに温かいご声援をいただきました。心より御礼申し上げます。

今年の運動会は902対878の僅差で赤組の勝利ということになりました。赤白拮抗の熱戦は、運動会のクライマックスの一つでもある高学年リレーも大きく盛り上げました。

レース序盤は総得点で遅れを取っていた白組が1位・2位を独占する快走を見せ、会場全体が大きな歓声に包まれました。しかし、最終的には赤組がわずかの差で逆転勝利を飾りました。赤組の逆転場面も見応えがありましたが、順位がほぼ確定した中でも、白組のアンカー走者が最後まで全力で走り抜いた姿は、勝敗を超えるスポーツの本質を改めて感じさせてくれました。結果を出せた選手だけでなく、思うような結果が出なかった選手やチームからも、多くのことを学べる。それが運動会の、そしてスポーツの素晴らしさだと感じます。

そして、競技終了後の閉会式は、予想もしなかった感動的なものとなりました。

得点発表後の優勝杯・準優勝杯授与の場面で、優勝

杯を手にした赤組副団長に「一言どうぞ」と声をかけたところ、副団長が「みなさんお疲れさまでした」と静かに語り始めたのです。私はてっきり優勝杯を頭上に高く挙げて「優勝したぞ!」と大きな声をあげるものと思っていたのです。さらに、「白組はとても強かったです」「今日このような運動会を迎えられたのは先生方や保護者の皆様のおかげです」と言葉を続けました。続いて準優勝杯を抱いた白組団長からも「本当に良い運動会でした」と感謝の言葉が述べられました。素晴らしいフィナーレとなりました。

この素晴らしい運動会の運営を支えてくださった「なかよし会」の皆様、そして閉会後の片付けを手伝ってくださったボランティアの皆様に、改めて感謝申し上げます。皆様のご協力のおかげで、運動会が安心・安全に開催することができました。

私にとっては初めての初等部運動会でしたが、建学の精神「感謝と奉仕の心」を見事に体現した運動会であったと感じました。これが私学の校風ということでしょうか。とても心地よい風を感じることができました。

一方、先日、新聞オピニオン欄に『変わる運動会』という特集が掲載されていました。近年、運動会のあり方が大きく変わってきています。組み体操や徒競走のあり方が見直され始めてからは既に久しく、最近は公立小学校を中心に半日開催の運動会も増えています。その中で初等部の運動会として何を大切にしているのか、これは今後の課題としたいと思います。

いよいよ本格的な夏が近づいてまいります。6月も5年生の宿泊学習（静岡県朝霧高原）、6年生の修学旅行（中部地方）と、子どもたちが楽しみにしている大きな行事が控えています。水泳学習も始まります。梅雨の湿った空気と夏の熱気が交差するこの時期、子どもたちの体調管理にも十分に気を配りながら、充実した学校生活を送らせるべく取り組んで参ります。